



マリナ森山緑  
(1908年—1951年)



パウロ永井隆  
(1908年—1945年)

慈しみ深い神よ

あなたはご自分の子どもたちを  
人生の歩みの中で、決して一人には  
しておかれません。

パウロ永井隆とその妻マリナ緑を  
わたしたちに与えてくださったことを  
感謝します。

マリナ緑は、夫を信仰へと導き、  
妻として寄り添い慎ましく支えながら  
完全な愛の道を示しました。

彼らは、神のみ旨に信頼しすべてを  
委ねる生き方を通して、  
神の計らいが悲惨の中でも  
善を生み出すことを示しました。  
そして、傷ついた人々に  
希望と愛を告げる証人となりました。

パウロ隆は、妻を原爆で失ったあと、  
原子野で神へのまっつき  
信頼のうちにつつましく生き、  
慈しみ深い神の愛を体験しました。  
そして豊かな恵みの証人となり、  
人々の心に、生きる意欲と再建のための

勇気を甦らせました。

パウロ隆とマリナ緑の取り次ぎによって、  
わたしたちもまた  
聖性への招きに応えることができます  
ように。

み旨ならば、神の栄光のために  
わたしたちが願う恵みを与えてください。

(沈黙)

彼らが、いつの日か聖人の交わりに  
迎え入れられますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって  
アーメン

†ベトロ中村倫明長崎大司教  
の教会認可(imprimatur)  
2022年8月15日

受けた恵などの情報は  
cause@amicinagai.com  
にお願いします